

ひだまり



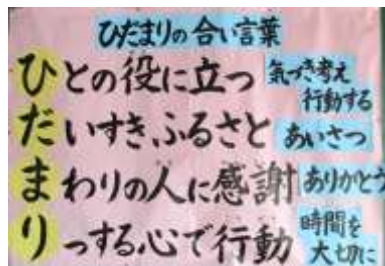
教育目標：ふるさとを愛し、自ら気づき考え行動する栖本っ子の育成

合い言葉は「ひだまり」

◎特に「ひ：人の役にたつ」姿を見つけ、ほめることで、自己肯定感を高めます。

◎これからは、正解のない時代だと言われます。自分で問い（課題）をみつけ、周りの人と協働し、情報収集

して解決していくことが求められています。子ども達の、**探究的に学ぶ姿**（課題をみつけ解決しようとする姿）を見つけて、ほめていきます。



【保護者の皆様へのお願い】

○きついこと、めんどくさいこと、大変なこと、疲れることは「力がついているとき」

と励ましてください。

○**結果よりも過程をほめてください。**

【150周年記念に合わせて】

○笑顔にする言葉1日15個以上

○読書1年間に150冊以上

○なわとび150日以上



不便／利「不便に利がある」

知り合いの元校長先生が職場通信に書かれていたことを紹介します。

ある国を滅ぼそうと考えた王子の側近が、ある賢い人に「この国を滅ぼすには、この王子をどのように育てたらいいか？」と尋ねました。その賢人は「王子が欲しがるものを全て与えなさい」と答えました。すると、王子は墮落し、国も墮落してこの国は滅んでしまいました。

別の貧しい国を良い国にしようと考えた王子の側近が、ある賢い人に「この国を富んだ豊かな国にするには、この王子をどのように育てたらいいか？」と尋ねました。その賢人は「王子に**不足と不便を与えなさい**」と答えました。すると、王子は我慢強く、心の優しい王子となり、この国は富んで豊かになりました。

今の時代は、物が豊富にあり、便利な生活を送れるようになりました。しかし、工夫する力や我慢する力、物を大切にする心などが育まれにくくなっていると考えさせられる話です。「本当の豊かさとは何か」を考えさせられる話です。不便だからこそ、工夫したり、助け合ったりできることを胸に刻んでおきたいと思います。